

各中学校長 殿
各専門委員 殿

東京都中学校体育連盟会長 大塚洋一
同 バレーボール部長 小澤秋仁
同 バレーボール委員長 松井晶揮

第66回 東京都中学校バレーボール新人大会競技要項

- 1 主催 東京都中学校体育連盟バレーボール部 (公財) 東京都バレーボール協会
2 開催期日 令和4年11月13日(日)20日(日)23(水)
3 会場 11月13日(日)1・2回戦 各中学校体育館 男女各16会場
11月20日(日)3回戦・準々決勝・準シード1回戦 各中学校体育館 男女各4会場
11月23日(水)準決勝・決勝 準シード：準決勝・決勝
男子：北区立十条富士見中(決勝) 北区立桐ヶ丘中(準シード)
女子：東京立正中(決勝) 杉並区立松浜中(準シード)

※3日間とも8時30分開場、開始式はおこなわず、9時から第1試合のチームのみ10分間ネットを使用した練習、終了して5分後プロトコール。

※競技上の注意、会場使用上の注意は「大会参加に関して引率責任者へのお願い」「東京都中体連バレーボール部大会参加に関わる感染拡大防止について(参加者向け)」を事前に熟読し、参加生徒と保護者に周知徹底をお願いします。

- 4 参加資格 (1)同一校に在学する生徒によって編成されたチームで、各ブロックの代表権を得たチームであること。
(2)推薦枠として、前年度の優勝校・準優勝の2チームが属するブロックにその数だけ還元する。
(3)東京都中学校体育連盟に登録されたチームであること。
(4)中高一貫及び小中一貫校の生徒は、中学部入学(小学校入学後7年目)から3年間中等課程に在学している者とする。
※合同チームについては中体連の条件を満たしていること。
同一支部内の複数校の生徒であり、どちらかの学校が6人未満の場合。さらに所属支部に報告し認定されていること。(公立・私立あり)

各ブロックの代表数は次の通りとする。

ブロック	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	推薦枠	計
男子	8	7	3	9	9	8	4	2	4	3	5	2	64
女子	6	6	7	6	6	9	7	3	4	4	4	2	64

推薦チーム<男子>サレジオ中学校・駿台学園中学校 10ブロックと4ブロックに各+1
<女子>八王子実践中学校・文京学院大学女子中学校 7ブロックと4ブロックに各+1

- 5 競技規則 令和4年度(財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
ネットの高さ<男子>2m25cm <女子>2m10cm
大会使用球 <男子>モルテンV4M5000 <女子>ミカサV400W
- 6 競技方法 25点制3セットマッチのトーナメント戦。3位決定戦は行わない。
- 7 申込方法 申込用紙(別紙資料参照)に必要事項を記入し、監督会議までに各ブロック常任委員宛に申し込むこと。締切期日後は受け付けない。
ブロック常任は、令和4年10月24日(月)までに「ブロック代表校」の一覧表を競技委員長まで提出すること。(ファックス可)
- 8 チーム構成 (1)チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名・選手は18名登録できる。その中から試合ごとに14名をベンチ入りさせることができる。ただし、13名以上ベンチ入りさせる場合はリベロプレーヤーを下記の人数で登録しなければならない。
※ベンチ入り選手 12名：リベロプレーヤー0~2名
13名以上：リベロプレーヤー2名選手
(2)監督は当該校の専任教員・部活動指導員とする。また、引率の責任を負う。ただ

し、部活動指導員が引率・監督を務める場合には、所定の「部活動指導員確認書（校長承認書）」の様式に必要事項を記入し、監督会議で参加申込書と一緒に提出すること。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。
※専任教員とは（教諭・助教諭・常勤講師）であり、部活動指導員とは、省令で言う外部指導員とは違う。

- (3) 外部コーチは学校長が許可し都の中体連に登録した者とする。なお、大学生以上の者（年齢がそれに当たる者）とし、中高生は禁止する。なお、次の2項も禁止する。
 - ① 都大会出場校の中で、2校または2チーム以上兼ねること。
 - ② 小学校・中学校・高校・大学を含む他校の専任の教職員。
- (4) マネージャーについては、生徒とする。
- (5) 監督・コーチ・マネージャー・キャプテン章は、規定の物を用いる。
- (6) 資格違反は発見と同時に出場を停止する。
- (7) 監督の変更は、同一大会中において変更を認められる。上記の規定に従い、大会前日までに競技委員長に連絡し、大会1日目のコート主任に届けを提出する。その後も変更が生じる場合においても、その都度、競技委員長に連絡し、大会当日の朝コート主任に届けを提出する。
- (8) メンバーの変更は、大会前日までに競技委員長に連絡し、大会1日目のコート主任に届けを提出する。（その後の変更はできない）

9 参加費

7000円 監督会議のとき納入のこと。※プログラム代も同様

10 監督会議

令和4年11月4日（金）14時30分

<会場> 十文字中学校（豊島区北大塚1-10-33）

※前年度優勝チームは、優勝杯等の返還を行い、レプリカを授与する。

※監督は、必ず出席のこと。監督不在の時は生徒ではなく、教職員が出席のこと。なお、駐車場がありませんので、車はご遠慮ください。

◎今回は男子・女子の順に抽選を行う。

11 試合ごとのエントリーの方法、その他

- ① 都大会1日目に提出する参加申し込み用紙の番号は整理番号とし、背番号は試合ごとに提出するメンバー表に記載すること。
- ② ユニホームは18枚用意することが望ましいが、無理な場合は、試合ごとにベンチ入りさせる14名の番号を提出するメンバー表に記載すること。ただし、18枚ユニホームがあるチーム、または14名以下の選手登録チームは背番号と選手を固定すること。要項に記載されている以上、違反チームに対しては厳しい姿勢で対応する。
- ③ メンバー表は当日の朝受付時に、各会場のコート主任に提出すること。その後勝ち残った場合は、試合が連続する場合を除き、1つ前の試合までに提出すること。1日を通してメンバーの入れ替えがない場合は、その旨を各会場のコート主任に伝えること。
- ④ メンバーの入れ替えがなくても試合ごとに新しいメンバー表を提出すること。
- ※⑤ メンバー表は組み合わせ会議で配布、または東京都中体連バレーボール部のHPからダウンロード（記録用紙をダウンロードして切り取って使用してください。）
- ⑥ 公式練習中はメンバー表に記載されたメンバーのみとする。（最大14名）
- ⑦ チームは登録した人数分のプログラム購入の努力をして欲しい。

※シード権と会場について

- ① 競技要項に示したとおり16シードとし、各ブロックの1位から正シード8校、準シード3校を決定する。ただし、4シードについては前大会（夏の都大会）の上位に入ったブロックの1位を（1・32・33・64）に振り分ける。（同順位の場合は、最後の試合の①セット率②得点率で決める。）残りの7ブロックを（9・16・17・24・41・48・49・56）に振り分ける。残りの5校は、前大会の上位に入ったブロックの2位から準シード1校、準々シード4校を決定する。ただし、同じブロックは8分の1ゾーンに分ける。チームの抽選順は前もって予備抽選を行う。尚、今大会で獲得した次の大会（2023年度）のシード（正シード、準シード）についてはチーム還元とせず、**ブロック還元とする。**
- ② 1日目の会場はシード校、男女各16校を会場とする。会場校ができない場合

は各ブロックで貸し会場を準備する。また、2日目の会場は4シードを会場とする。会場校ができない場合は各ブロックで貸し会場を準備する。

☆4シードに入るブロックは下記の通りです。

男子：4ブロック・5ブロック・6ブロック・10ブロック

女子：2ブロック・3ブロック・4ブロック・7ブロック

☆各ブロックの2位のシード結果は下記の通りです。

男子：1ブロック・4ブロック・5ブロック・6ブロック・10ブロック

女子：2ブロック・3ブロック・4ブロック・6ブロック・7ブロック

※11月23日（水）準シード決定戦

○2日目の準シード1回戦で勝利したチーム・男女各4チームにより行う。

○形式は1日目と同じとし、帯同審判制で補助役員も各チームから出す。

○準シード4校の順位を決定する。トーナメントにより3試合行い9位～12位まで決定、ただし、3位決定戦は行わず、1位に負けたチームが11位、2位に負けたチームが12位とする。準シード1回戦で敗退したチームは今年度も準々シードとしない。

○大会要項に記載されているので、棄権は認めない。

○準シード4校の次年度の総体兼選手権大会における扱いは、令和4年度の競技要項に示した通りとする。（ブロック還元制とする。）

12 注意事項

- (1) 出場チームは、記録・線審・点示等の補助審判ができるように指導すること。
- (2) 出場チームは、定められた競技規則による服装とする。
背番号は、1～18番が望ましい。
- (3) 出場チームは、審判（有資格者）を1名用意すること。
- (4) ユニホームの名前は、学校名がわかるものとする。
- (5) 健康診断において、健康な生徒であること。（大会で負傷した時は、（独）日本スポーツ振興センターより給付の対象となります。）
- (6) 監督は正規の監督であること。
- (7) 第一日目の審判は、4チームで分担して運営すること。
- (8) 会場の体育館以外に勝手に立ち入らない。また、会場使用上の注意を守ること。
- (9) 持参した弁当がらや屑物、及び使用後に出了たゴミや缶類についても会場校に捨てないでチームが持ち帰ること。缶ジュース・瓶ジュース類は持参しないこと。
- (10) 出場チームの監督は、選手だけでなく、応援の生徒や保護者に対しても、指導、監督すること。
- (11) 上記の事項に違反したチームは出場を停止とする。
- (12) 大会におけるビデオ・写真撮影への対応
撮影は、大会関係者に限る。ただし、取材等の場合は本部への申請により許可することもある。関係者であっても、撮影にあたっては、会場が各中学校の際は各チームから会場責任者に申告させる。3日目の際はIDカード類を大会本部から発行し許可制とする。その際、撮影した画像、動画をSNS等にアップしないこと。発覚した場合は削除させることがある。また、悪質な場合は関係諸機関に通報することがある。

(13)保護者・生徒の入場制限について

発出されている宣言	保護者	生徒
緊急事態宣言	各チーム1名のみ	制限なし
まん延防止等重点措置	登録メンバーの2年生保護者各家庭1名	
発出なし	登録メンバーの保護者各家庭1名	

※まん延防止等重点措置：登録メンバーが全員1年生の場合は1年生の保護者でも可

※会場によっては無観客の可能性もあります。会場一覧で確認すること。

入場しても、声を出しての応援は不可。マスクを必ず着用すること。

◎上記についての問い合わせ及びメンバー変更の連絡は

競技委員長 板橋区立高島第二中学校 野崎 朋之まで TEL 090(4056)2437